

# 教宣 せぶん

## 先輩からの 心のこもった “おもてなし”

「関西に来る機会があればゆっくり話しをしよう」と言われていた神戸の先輩から、争議解決から1年を経た2月6日・7日、とても温かい“おもてなし”を受けました。



神戸ポートタワー

異人館通り、神戸ポートアイランド、南京町の春節祭、淡路島から見た明石海峡大橋など、神戸の名所を観光させてくれた先輩と舞子ヴィラホテルで宿泊し、翌日は灘の酒蔵や、ご自宅、契約係社員時代からのお仲間と共同経営する代理店を案内

してもらい、最後は神戸牛の名店に連れて行っていただきました。



南京町の春節祭り

道中やホテルで、近況や仕事の事、家族の事、震災時の様子や復興の姿、私たちのたたかいや

組織の歴史などについて、たつぷり 震災の爪跡を保存する沿岸とお話することができました。先輩とは10数年前に支部執行部で活動したのが縁で親交が深まりました。先輩は

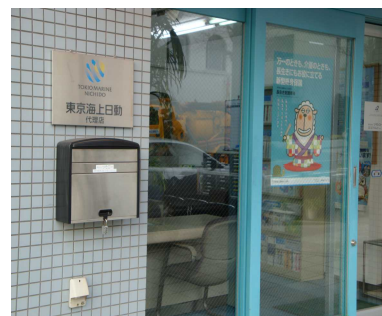
組織分裂から争議解決まで、常に私たちの組織を気づかい、たたかいを支援してくれました。もちろん昨年おこなわれた解決報告集会にも神戸から参加してくれましたが、争議解決し1年経過したいまでも、私たち後輩の組織のことを考えてくれていました。



淡路島側から見た明石海峡大橋

たたかいを支えてくれたOBや地域の仲間と交流を深めていくことは今期の運動方針にも掲げられていますが、争議解決を果たした

いまでも後輩たちを心配してくれる先輩がいます。あらためて組織内外の“団結”、“結集”を考えていかなければならないと感じました。



社員時代からのお仲間と営む代理店